

シンポジウム「レジリエントな地域の未来を支えるパートナーシップ」に参加、基調講演を行いました（2025/2/14）

テーマ：レジリエントな地域、パートナーシップ、復興

会場：日比谷国際ビルコンファレンススクエア、オンライン

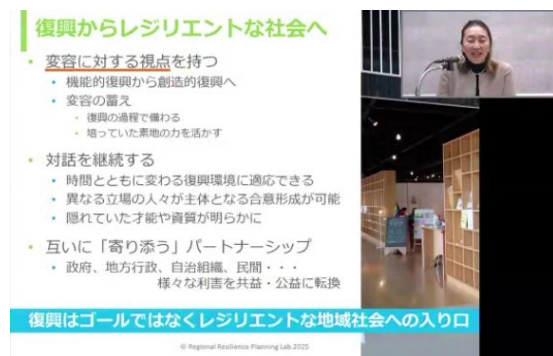
2025年2月14日に日比谷国際ビルコンファレンススクエア／オンラインにて、シンポジウム「レジリエントな地域の未来を支えるパートナーシップ」（主催：環境省）が開催されました。本シンポジウムの目的は「今後も自然災害のリスクが高まっていくことは容易に想定される我が国で、どのように地域のレジリエンスに資する連携・協働の備えを充実・強化するのかを復興の事例を通して考える」こととし、当研究所の井内加奈子准教授（レジリエンス計画研究分野）は、「Functional Recovery から考えるレジリエンス：『寄り添う』復興の力」のタイトルで基調講演を行いました。

シンポジウムでは、基調講演の他、「石川県珠洲市」や「福岡県久留米市田主丸地区」「宮城県気仙沼市」の事例紹介や、これらの話題提供を行った橋本禪教授（東京大学大学院農学生命科学研究科）、吉弘辰一副会長（田主丸未来創造会議）、小野寺憲一震災復興・企画部部長（気仙沼市）とのパネルディスカッションを通じて、災害時、復旧復興時において地域において重要な対応や心構え、取り組みなどについて、活発に話し合いました。

当日は、会場での参加者の他、企業、地方公共団体、行政、NGO／NPO、大学・研究機関や個人など約80名がオンラインで参加しました。多様な背景を持つ人々が、災害時や復旧復興時を通じてレジリエントな地域をつくることに関心を寄せていることが明らかになりました。なお、当日の資料やアーカイブは、e-partnership のウェブサイトに掲載されています。



パネルディスカッションの様子



井内准教授のオンライン講演の様子